



子どもに何を食べさせる？

私たちの選択

「元気で大きくなってほしい…」子どもたちを前に、私たちはそう願います。しかし、数十年前にはなかった遺伝子組み換え食品が加工品や動物の飼料となり、形を変えて私たちの食卓に上がっています。

遺伝子組み換え作物は大規模で効率重視で育てるために、農薬への耐性を持つよう遺伝子が操作されており、栽培にはラウンドアップという農薬が使われています。このラウンドアップには、これまでの毒性評価に含まれていない毒性成分が含まれることが分かりました。また、新しい遺伝子の組み換え方法を用いたゲノム編集食品は「自然界での突然変異と同じ」「従来の品種改良と区別できない」とする考え方のもと、表示義務が課されないまま流通が始まろうとしています。国においては安全性について実質的な議論もされておらず、消費者は選択することができません。

子どもたちに、そして私たち自身が、「何を、どんなふうに食べて暮らしていきたいか」あらためて考えてみませんか。

日 時：2020年2月27日(木)10時～12時

場 所：エルプラザ環境研修室（北区北8条西3丁目）

参加費：500円（生活クラブ組合員：無料）

第1部

＜ジル＝エリック・セラリーニ教授、来日講演会 報告＞

「近づくな危険！ラウンドアップと遺伝子組み換え食品」

お話：富塚 とも子さん（市民ネットワーク北海道 食プロジェクト）

第2部

「何を食べたらいいの？それは生活クラブでしょ」

お話：泉屋 めぐみさん（生活クラブ生協）

第3部

生活クラブ生協の消費材を使った学生寮の食事づくり

お話：中島 圭子さん（ワーカーズ・コレクティブ まどり）

主催：食の問題を考える会（生活クラブ生活協同組合、NPO 法人 北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会、市民ネットワーク北海道）

問い合わせ：市民ネットワーク北海道 011-219-0112（佐々木）